

再見! 東洋美術

— 館蔵品と東京藝術大学所蔵の中国石仏による —



1. 如来像頭部 ガンダーラ出土 3世紀 / 実践女子大学香雪記念資料館蔵
2. 如来像頭部 ハッダ出土 5世紀 / 実践女子大学香雪記念資料館蔵

3. 加彩女子俑 前漢(前2世紀-後1世紀) / 実践女子大学香雪記念資料館蔵
4. 仏坐像 北魏(5世紀後半) / 東京藝術大学美術館蔵

2019年7月1日(月)～8月4日(日)

会場 実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室 1

〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49 Tel. 03-6450-6805 HP <http://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>

開館時間=11:00～17:00 入館料=無料

休館日=土・日曜日(ただし7月14日(日)、15日(月・祝)、8月4日(日)は開館)

主催=実践女子大学香雪記念資料館 後援=渋谷区教育委員会

同時開催: 中国美術史入門展 — 複製絵画と銅鏡による —

実践女子大学は今年創立120周年の節目の年にあたります。当館も、博物館相当施設として開館以来、女性画家の作品蒐集、展示、研究を中心に活動を行い、20年目を迎えますが、その前身は、さらに、昭和42年(1967)に本学に設置された博物館学課程に併設の東洋考古資料展示室にまで遡ります。当時、課程主任であった故松原三郎名誉教授(1918-1999)によって、中国を中心とする仏教美術作品や考古文物が、教材として蒐集展示されていました。現在もそのコレクションは、当館が所蔵し、一部が折々に展示されてきました。このたび、創立120周年の事業の一環として本展覧会を企画し、松原先生の蒐集になる東洋考古文物を展示し、当館ならびに本学の博物館学教育や美術史学教育の後の発展の礎を築いた、先生の貢献を顕彰すると同時に、中国との交流が困難な時代にあつて、中国仏教美術史研究に大きな足跡を残された先生の研究業績を振り返り、研究に係わりの深い仏教彫刻作品を、東京藝術大学大学美術館のご厚意により借用し、併せて展示することによって、先生の研究成果の一端を、学内外に知らせる機会とします。



故 松原三郎先生(西安大雁塔にて) / 実践女子大学所蔵写真



孔雀文磚 後漢(2世紀) / 実践女子大学香雪記念資料館蔵



加彩武人俑 唐(7世紀) / 実践女子大学香雪記念資料館蔵



菩薩像頭部
ハッタ出土 4-5世紀
/ 実践女子大学
香雪記念資料館蔵



比丘像(拓本)
天龍山石窟第3窟 東魏(6世紀前半)
/ 実践女子大学香雪記念資料館蔵



四面像(塔像) 北周(6世紀後半)
/ 東京藝術大学大学美術館蔵



【交通案内】
 ・JR/東京メトロ/東急/京王「渋谷駅」東口から徒歩約10分
 ・東京メトロ「表参道駅」B1出口から徒歩約12分